



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 28 年 2 月 23 日(火)
のしろ市民まちづくりフォーラム 編

平成 28 年 2 月 23 日(火)、能代市海詠坂の木材高度加工研究所にて「のしろ市民まちづくりフォーラム～日本風景街道を通して私たちができること 8～」を開催しました。当日はあいにくの空模様にもかかわらず、約 50 人の方が参加し、日本風景街道についての講演などに耳を傾けていました。

フォーラムの講演では国土交通省東北地方整備局道路部道路調査官の大江真弘氏を迎え、「日本風景街道の取り組み」について御講演いただきました。

「そもそも日本風景街道とは？」といった基本的な部分から始まり、全国の日本風景街道で行われている様々な取組や、のしろ白神の道を含む東北風景街道が今後どのような方向へ向かっていけば良いかなどについてのお話がありました。参加者にとっても有意義な情報が多々あった講演であったと思います。

次に「のしろ白神の道の 10 年とこれから」と題して、木材高度加工研究所准教授の渡辺千明氏からお話がありました。本ネットワークが来年度をもって 10 年目を迎えることもあり、これまでの活動と今後の活動についての紹介がありました。ネットワーク会員も過去のイベントなどを思い出して聞きいている様子が見えられました。

次に「東北の底力。交流から生まれる地域資源の再発見～七日町の地域活性化とまちづくり～」と題して、七日町通りまちなみ商店会副会長の庄司裕氏にお話していただきました。歴史的建物の保存と修景をまちづくりの基本とした、実際の修景の様子を写真等を使って紹介していただきました。レトロな雰囲気を残したまちづくりに筆者も訪れてみたいと思わせるような建物が多く紹介されていました。また、木製湾曲プランター導入や嫁見祭りでの会津応援物産市など、本ネットワークとの交流についてもお話をいただきました。

次に「弘前まちそだて」と題して、弘前市中心市街地活性化協議会の木下克也氏にお話していただきました。既存の



たくさんの参加者で、会場は後ろの席までほぼいっぱいでした



のしろ白神ネットワーク代表・能登祐子氏による開会あいさつ



講演をしていただいた、大江真弘氏



情報提供とフロアディスカッションのコーディネーター、渡辺千明氏



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

施設などを活用してまちを「そだてる」という観点から、秋田ではなかなか見ることがない、遊歩道や路上を積極的に活用したイベント等の事例を発表していただき、感心させられる部分も多くありました。本ネットワークでものしろまち灯りで歩行者天国に屋台を出していることもあり、大変参考になる事例だったと思います。

休憩を挟み、渡辺千明氏をコーディネーターとして、大江真弘氏、庄司裕氏、木下克也氏、齊藤滋宣能代市長の5者でフロアディスカッションを行いました。

参加者や関係者からは「能代を訪れた人をいかに滞留させるか」や「ネットワークとして道の駅などにどのようにして関わっていけば良いのか」など積極的な発言があり、齊藤市長をはじめ、各パネラーが真摯に討論している姿を見ることができ、有意義なディスカッションであったと思います。

最後に齊藤市長より、「今後とものしろ白神ネットワークを継続して地域づくりに貢献していただきたい。能代市としてもよりよいまちづくりに尽力してまいります。」との力強いお言葉をいただき、今後のネットワーク活動の励みになりました。

この言葉を胸に、来年度も地域の皆さんの期待に応えられるように、様々な事業に取り組んでいきたいと思ひます。

文：千葉 和輝



七日町の取り組みについてお話していただいた、庄司裕氏



弘前市中心市街地の取り組みについてお話していただいた、木下克也氏



フロアディスカッションで参加者の発言に真摯に討論していただいた、齊藤滋宣能代市長



会場後ろには3街道のパネルの展示がありました。



東日本大震災を受けての国交省の防災対策情報の展示もありました。



フロアディスカッションは、会場から積極的な発言が見受けられました。